

平成28年度 基本施策評価シート (部別)

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	文化を学び育むまち
基本施策名	芸術文化活動の振興

	所属	職名	氏名
作成者	文化課	課長	那須野 雅好
評価者	教育部	部長	山田 幸久

1 基本施策に対する基本姿勢

現状	市民と協働により実行委員会を組織して信州安曇野能楽鑑賞会、早春賦音楽祭等を実施している。 豊科近代美術館等に指定管理者制度を導入し、管理運営を行っている。 安曇野高橋節郎記念美術館事業を実施し、高橋芸術の顕彰に努めている。
基本方針 (目指すべき方向性)	郷土の歴史的・文化的遺産や伝統文化、古文書などを保存・継承し、それらを活用して創造的な芸術文化活動が活発に行われ、特徴ある芸術文化を全国に発信できるまちを目指します。

2 施策指標

指標	単位	(設定時)	目標値	H26	H27	H28	達成率	進捗状況	所管課
芸術・文化講座などの参加者数(人・年)	人	12,243	12,500		14,382	14,844	118.8	予定以上	文化課
美術館・博物館などの入場者数(人・年)	人	57,967	65,000		58,848	78,096	120.1	予定以上	文化課
芸術・文化活動者数(人/年)	人	3,031	3,200		2,656	2,733	102.9	予定以上	文化課

施策指標の進捗状況と分析	美術館・博物館における特徴ある講座や企画展の展開により、講座等の参加者数、施設の入館者数は増加傾向にある。 芸術・文化活動者数は減少傾向で、地域の芸術文化協会の会員の高齢化と減少が顕著となっている。
--------------	--

3 基本施策を構成する事務事業の評価

(単位:円)

No	コード	事務事業名	所管課	事業費						事務事業の状況				重点化
				H26	H27	H28	H29	H30	合計	事業区分	新/継	終期	方向性	
1	0110490	芸術教育普及事業	文化振興係			4,953,205	5,315,000	4,740,000	15,008,205	政策的業務	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
2	0110495	美術館・博物館連携事業	文化振興係			137,214	863,000	863,000	1,863,214	政策的業務	継続	期限なし	現状維持	
3	0110500	文化芸術施設整備事業	文化振興係			5,132,920	846,000		5,978,920	施設の管理運営	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
4	0110515	豊科近代美術館管理運営事業	文化振興係			34,108,000	33,894,000		68,002,000	施設の管理運営	継続	H30	拡充(現予算内)	
5	0110520	田淵行男記念館管理運営事業	文化振興係			18,079,000	19,228,000		37,307,000	施設の管理運営	継続	H30	拡充(現予算内)	
6	0110525	飯沼飛行士記念館管理運営事業	文化振興係			2,516,926	2,519,000		5,035,926	施設の管理運営	継続	H30	拡充(現予算内)	
7	0110530	臼井吉見文学館管理運営事業	文化振興係			2,185,000	2,185,000		4,370,000	施設の管理運営	継続	H30	拡充(現予算内)	
8	0110535	穂高陶芸会館管理運営事業	文化振興係			6,993,000	7,344,000		14,337,000	施設の管理運営	継続	H30	拡充(現予算内)	
9	0110540	文化団体補助事業	文化振興係			8,780,800	8,970,000	8,970,000	26,720,800	政策的業務	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
10	0110545	文化イベント補助事業	文化振興係			7,400,000	6,700,000	6,700,000	20,800,000	政策的業務	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
11	0110565	安曇野高橋節郎記念美術館管理運営事業	文化振興係			16,884,851	17,307,000		34,191,851	施設の管理運営	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
12	0110570	安曇野高橋節郎記念美術館教育普及事業	文化振興係			5,935,483	5,258,000	4,874,000	16,067,483	政策的業務	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
13	0110575	豊科郷土博物館施設運営管理事業	博物館係			18,766,779	17,646,000		36,412,779	施設の管理運営	継続	期限なし	拡充(事業内容・事業費の見直し)	
14	0110580	豊科郷土博物館教育普及事業	博物館係			2,737,744	5,051,000	3,890,000	11,678,744	政策的業務	継続	期限なし	拡充(事業内容・事業費の見直し)	○
15	0110590	文化財資料センター施設運営管理事業	博物館係			4,851,696	4,740,000		9,591,696	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
16	0110595	郷土資料館施設運営管理事業	博物館係			2,870,126	2,836,000		5,706,126	施設の管理運営	継続	期限なし	拡充(現予算内)	
17	0110605	旧民俗資料館施設運営管理業務	博物館係			869,555	1,027,000		1,896,555	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
18	0110615	貞享義民記念館施設運営管理事業	博物館係			13,361,291	13,844,000		27,205,291	施設の管理運営	継続	期限なし	現状維持	
19	0110620	貞享義民記念館教育普及事業	博物館係			244,280	1,330,000	593,000	2,167,280	政策的業務	継続	期限なし	拡充(事業内容・事業費の見直し)	
20	0110645	文化財保全事業	文化財保護係			5,187,318	4,231,000		9,418,318	義務業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	
21	0110650	地域史研究と文化財保存・活用	文化財保護係			1,574,742	6,811,000	2,793,000	11,178,742	政策的業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	
22	0110660	歴史的価値ある公文書整理事業	文化財保護係			2,055,647	3,841,000		5,896,647	義務業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	
23	0110665	地域資料収集・整理事業	文化財保護係			4,247,058	2,945,000	2,945,000	10,137,058	政策的業務	継続	期限なし	現状維持・事務改善	
24	0110670	公文書館開館準備	文化財保護係			902,880	8,407,000		9,309,880	義務業務	新規	H31	現状維持・事務改善	○
25	0110675	埋蔵文化財保護事業	文化財保護係			9,247,786	16,405,000		25,652,786	義務業務	継続	期限なし	現状維持	
合計						180,023,301	199,543,000	36,368,000	415,934,301					

平成28年度 基本施策評価シート（部別）

基本目標	人と文化を育むまちの形成
基本方針	文化を学び育むまち
基本施策名	芸術文化活動の振興

	所属	職名	氏名
作成者	文化課	課長	那須野 雅好
評価者	教育部	部長	山田 宰久

事務事業量とコスト (費用対効果)の分析	美術館・博物館9館の内、5館については指定管理業務で実施しており、平成31年までの業務委託となっている。直営施設は美術館施設1、博物館施設3である。新市立博物館構想では、豊科郷土博物館と豊科近代美術館を基幹館とする方針や、一部施設の統廃合の方針が盛り込まれているが、それまでの間は現在の体制での運営を進めたい。
重点化事務事業の考え方	新市立博物館構想では、新規博物館の設置は15～20年後と先送りしたが、その分、博物館の出前展示や学芸員などの人材育成を進めるとした。平成28年度では「コンパクト展示」と称した出前展示を13件制作し、本庁舎ロビーや小中学校などへ23回の展示を行った。今後も交流学习センターや地区公民館への展開を図る。「歴史的価値ある公文書整理事業」と「公文書館開館準備事業」については、これまで収集を行ってきた古文書や歴史的公文書の活用を図るべく、H30の安曇野市文書館開館に向けて集中的に作業等を進める。
縮減・廃止事務事業の考え方	新市立博物館構想では、公共施設の再配置計画と連動していくつかの施設の統廃合や縮小を目指すとしている。平成31年度は指定管理事業者更新の年にあたるため、費用対効果や入館者の動向を見極めながら検討を進めたい。
総合評価 (次年度へ向けた課題の抽出含)	第1次の文化振興計画が最終年を迎え、H27には中間評価も実施された。12の施策と45の具体的取組のなかで、図書館・交流学习センターに代表される施設整備については高い満足度が得られた一方、情報発信、人材育成、文化芸術の活用などのソフト面における評価は芳しくない。今後厳しさを増す財政事情も鑑み、魅力のあるソフト事業の展開と、市民に浸透する発信方法を見出す必要がある。他方、新規設置が見送られた新市立博物館と関連施設については、既存施設の有効活用といっそうの特色ある企画展や出前展などの事業展開が求められる一方、文書館開館も視野に入れての資料の保存・収集などの地道な事業も進めなければならない。